

令和8年2月北本市定例記者会見 次第

日時 令和8年2月12日（木）
午前10時30分
場所 会議室3-E・F

1 開 会

2 説 明

- ・令和8年第1回北本市議会定例会の議案等について
- ・北本市からのお知らせ

3 質 疑

4 閉 会

○配布資料

- ・令和7年度一般会計補正予算等の概要（資料1）
- ・令和8年度当初予算（案）記者発表資料（資料2）
- ・各種情報提供資料（資料3）
- ・スライド資料
- ・令和8年第1回北本市議会定例会提出議案一式
- ・各種チラシ等

令和 7 年度一般会計補正予算等の概要

1 補正予算の規模

一般会計（9号）	△ 174,940 千円(補正後累計)	30,387,773 千円)
後期高齢者医療特別会計（2号）	79,457 千円(補正後累計)	1,404,512 千円)
久保土地区画整理事業特別会計（3号）	△ 365,245 千円(補正後累計)	755,126 千円)
国民健康保険特別会計（3号）	36,611 千円(補正後累計)	6,510,656 千円)
介護保険特別会計（5号）	△ 117,147 千円(補正後累計)	6,434,191 千円)
埼玉県央広域公平委員会特別会計（1号）	41 千円(補正後累計)	624 千円)

2 一般会計補正（第9号）の内容

（歳出）

生活保護扶助経費の増額		6,666 千円
会計業務経費の増額		926 千円
災害救助経費		60 千円
積立金（減債基金 外7件）		55,839 千円
後期高齢者医療特別会計繰出金	△	11,433 千円
久保特定土地区画整理事業特別会計繰出金		141,867 千円
国民健康保険特別会計繰出金		13,349 千円
埼玉県央広域公平委員会負担金		41 千円
国・県等支出金返納金		39,244 千円
事業費の確定に伴う減額補正	△	421,499 千円

（歳入）

市税（固定資産税）		200,000 千円
地方交付税（普通交付税）		364,843 千円
分担金及び負担金（保育所児童保護者負担金）		5,029 千円
使用料及び手数料（保育所保育料）		2,004 千円
国庫支出金（国民健康保険基盤安定負担金 外15件）	△	155,431 千円
県支出金（国民健康保険基盤安定負担金 外6件）	△	2,785 千円
財産収入（財政調整基金利子 外8件）		2,529 千円
寄附金（ふるさと応援寄附金）	△	100,000 千円
繰入金（財政調整基金 外3件）	△	415,008 千円
諸収入（受託事業収入 外3件）	△	921 千円
市債（保育所施設改修事業債 外6件）	△	75,200 千円

（繰越明許費）

市道6334号線道路改良事業		6,955 千円
市道2305・3269号線道路改良事業		2,500 千円

（債務負担行為）

廃止 デーノタメ遺跡保存活用計画策定業務	△	6,501 千円
----------------------	---	----------

（地方債）

変更 道路整備事業 外5件	△	73,600 千円
廃止 保育所施設改修事業	△	1,600 千円

令和8年度北本市当初予算（案）記者発表資料

I 令和8年度予算総括

- 令和8年度の一般会計当初予算は、前年度当初予算に比べて9億2,400万円増の289億4,100万円となりました（令和7年度比3.3%増額予算）。
歳入では、市税が令和7年度比3.2%の増となり、歳出では、扶助費等の社会保障関係経費や、公共施設の整備、改修、統廃合に要する経費が増加しています。
- 新たにスタートする第六次北本市総合振興計画における人口の変化を踏まえたまちづくりの方向性としての「定住人口の維持及び交流人口・関係人口の増加」、「地域資源を活かしたまちづくり」、「持続可能な行財政運営」の3つの基本的な考え方に沿った6つの政策に基づき、IIに示す主要・新規事業の実施を通じた魅力あるまちづくりを推進します。
- 北本駅東口駅前広場内に、乗降空間としての機能だけではなく、歩行者にとっての快適な空間を創出し利便性を向上させるため、シェルターを整備します。また、安心安全な都市基盤整備を推進するため、生活道路の整備に取り組み、石戸下踏切接続道路の拡幅工事のほか、局地的な大雨等による浸水対策として、雨水排水施設の整備を進めます。
- 地域交通は、市民の日常生活に必要不可欠な買物、医療、教育等のアクセスを支えるとともに、観光振興や地域経済の活性化にも欠かすことのできないものであることから、地域公共交通サービスの実現に向けた地域公共交通計画を策定します。また、実証実験としてデマンドバスを1台増車し、5台体制で運行することで、利用者の利便性の向上を図ります。
- 国指定史跡のデーノタメ遺跡を適切に保存・活用していくため、史跡指定地の公有地化を進めるとともに、遺跡の価値や魅力を伝えるため、シンポジウム等を開催します。
- 新たに生成AIを導入し、デジタル技術を活用することで、業務の効率化を図るとともに、業務の質的向上を通じて市民サービスの向上を図ります。
- まちの魅力を創出し、効果的に発信・活用することにより、市民のまちへの愛着を醸成するとともに、定住促進及び交流人口・関係人口の獲得を図るため、シティプロモーション事業を実施します。

会計別予算総括表

(単位:千円、%)

区 分		令和8年度	令和7年度	比 較	増減率
一 般 会 計		28,941,000	28,017,000	924,000	3.3
特別 会計	後期高齢者医療特別会計	1,460,100	1,286,300	173,800	13.5
	久保特定土地地区画整理事業特別会計	906,800	1,119,200	△212,400	△19.0
	国民健康保険特別会計	6,401,900	6,351,800	50,100	0.8
	介護保険特別会計	6,675,700	6,339,500	336,200	5.3
	埼玉県央広域公平委員会特別会計	599	583	16	2.7
	小 計	15,445,099	15,097,383	347,716	2.3
企業 会計	公共下水道事業会計	1,764,048	1,757,052	6,996	0.4
総 計		46,150,147	44,871,435	1,278,712	2.8

II 令和8年度主要・新規事業

1 こどもの成長を支えるまち

(単位 千円)

事業	予算額	新・継	事業内容
こども家庭センター運営事業	21,030	継	母子保健と児童福祉の一体的な支援を行う「こども家庭センター」を運営する。
こども・ひとり親家庭等医療費支給事業	283,959	継	子どもやひとり親家庭等が、必要とする医療を容易に受けられるようにするため、医療費の一部を助成する。
民間保育施設等補助金交付事業	166,998	継	支援を必要とする児童を受け入れる際の保育士の配置に要する経費、延長保育やアレルギー対応給食のための経費等の一部を補助する。
きたもと保育士就職奨励金交付事業	6,000	継	他の地域との差別化を図り、保育士の雇用を促進するため、民間保育施設等において、市内で新たに保育士として就職した者に対して、奨励金を交付する。
乳児等通園支援事業	13,829	新	全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を行うことを目的に、乳児等通園支援事業を実施する。
放課後子ども教室推進事業	15,115	継	子どもたちの学習活動及び体験・交流活動を推進するため、余裕教室等を活用し、地域の方々等の参画を得て、全小学校において放課後子ども教室推進事業を実施する。
産後ケア事業	4,852	継	出産後、心身の不調や育児不安がある母親へのサポートのため、医療機関への委託による宿泊型及びデイサービス型並びに直営によるデイサービス型の産後ケア事業を実施する。
5歳児健康診査事業	2,279	新	発達障害等のこどもの特性を早期に発見し、就学前の適切な支援につなげるため、5歳児に対する健康診査を実施する。
小中一貫教育・教科担任制推進事業	9,430	継	学力の向上及び中1ギャップの解消を図るため、小・中学校の教員の相互授業乗り入れを行い、義務教育9年間の適切な支援のための発達段階に応じた指導研究を実施する。
外国語指導助手配置事業	27,773	継	小・中学校全校に外国語指導助手を配置し、生きた英語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、英語によるコミュニケーション能力の向上等英語教育の推進を図る。

事業	予算額	新・継	事業内容
学校水泳指導民間委託事業	46,267	継	児童生徒の泳力向上、施設管理経費の節減及び安全性の向上を図るため、小・中学校全校の水泳指導を民間事業者へ委託する。
部活動指導員配置事業	1,506	継	中学校の部活動に部活動指導員を配置し、生徒にとって望ましい活動環境の構築及び教員の働き方改革の推進を図る。
特別支援教育支援員配置事業	52,477	継	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援を行うため、小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育の充実を図る。
学習支援室講師配置事業	8,417	継	不登校生徒の学校復帰及び不登校の未然防止を図るため、生徒の居場所となる学習支援室を中学校全校に設置し、学習支援室講師を配置する。
東小学校給食室改築事業	156,554	新	老朽化した東小学校給食室の改築工事を実施する。
コミュニティ・スクール事業	910	継	学校と地域住民等が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを推進するため、小・中学校全校でコミュニティ・スクールの取組の推進を行う。
子どもの権利相談・救済事業	14,012	継	北本市子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの権利擁護委員及び相談員を配置し、子どもの権利相談や救済等事業を実施する。

2 安心・安全で自然と共存する住みやすいまち

(単位 千円)

事業	予算額	新・継	事業内容
道路情報管理システム事業	20,594	継	道路に関する情報を適正に管理し、有効活用を図るため、引き続き道路情報管理システムの確立を行う。
地籍調査事業	3,827	継	国土地理院で管理する基準点等の標高成果の改定に伴い、北本市管理の基準点の改定を実施し、地籍調査事業開始の準備を行う。
道路維持事業	266,380	継	道路施設の改修及び維持管理を行う。清掃等委託料(12,400)、舗装工事(100,000)、道路補修工事(152,000)、路面下空洞調査業務委託(1,980)
道路照明灯等設置事業	38,409	継	夜間における交通安全の確保及び犯罪の防止を図るため、道路照明灯及び防犯灯の設置を行う。また、LED照明器具の交換時期への対応を行う。

事業	予算額	新・継	事業内容
道路新設改良事業	196,000	継	道路の拡幅整備・改良工事を行う。改良工事（66,000）、土地購入（99,000）、物件補償（31,000）
中山道歩道美装化整備事業	49,186	継	中山道の持つ歴史と文化を活かした魅力あるまちづくりを行い、良好な街並み環境を形成するため、多聞寺交差点から南大通り交差点までの歩道の美装化を行う。
西仲通線整備事業	—	継	西仲通線の事業認可取得に向けた申請・協議を行う。
中央通線整備事業	—	継	中央通線Ⅱ期区間の事業認可取得に向けた申請・協議を行う。
地域公共交通計画策定事業	8,940	新	将来の本市にとって望ましい地域交通サービスの姿を明らかにするとともに、基本的な方針を定めるため、地域公共交通計画を策定する。
デマンドバス運行事業	49,603	継	市内公共交通の確保に向け、利用者の予約に応じて希望する場所で乗降ができるデマンドバスを運行する。また、普通車両1台を増車する実証運行を行い、利用者の利便性向上に努める。
交通安全施設整備事業	8,000	継	交通安全を確保するため、通学路の安全対策、道路反射鏡の設置、区画線塗布等の交通安全施設の整備を行う。
空き家発生予防住宅リフォーム補助金交付事業	6,000	継	住宅リフォームに要する経費の一部を補助することにより、既存住宅の継続的な活用を促進し、空き家の発生を予防する。
北本市子供公園ドームテント整備等事業	88,440	継	子供公園児童館跡地に、休養施設としてドームテントを整備する。
生物多様性地域戦略策定事業	9,976	新	生物多様性の保全や再生について具体的な取組を進めるため、基本計画となる生物多様性地域戦略の策定に着手する。
ゼロカーボンシティ実現促進補助金交付事業	1,000	継	市内から排出される温室効果ガスを削減し、地球温暖化を防止することを目的に、市民等を対象として、集合住宅宅配ボックス設置に係る費用に対して、補助金を交付する。
小学校照明設備LED化事業	183,876	新	小学校にLED照明器具を整備する。
一般廃棄物処理施設整備基金積立事業	200,942	継	一般廃棄物処理施設の整備に係る支出に備えるため、一般廃棄物処理施設整備基金への積立を行う。

事業	予算額	新・継	事業内容
空き店舗等活用推進補助金交付事業	1,500	継	新たなビジネスと市内の賑わいの創出及び市内経済の活性化を図るため、市内の空き店舗等を活用して新たに創業する者に対し、当該創業に要する経費の一部を補助する。
北本駅東口駅前シェルター整備事業	113,600	継	北本駅東口駅前広場内にシェルターの整備を行う。

3 健康でいきいきと暮らせるまち

(単位 千円)

事業	予算額	新・継	事業内容
健康長寿ウォーキング事業	1,466	継	市民の健康づくりの意識の高揚及び生活習慣の改善を図るため、ウォーキングを推進するとともに、健康教室等を開催する。 (一般会計における予算額の計上の外、介護保険特別会計で2,383千円を計上)
がん検診事業	76,240	継	がんを早期に発見し、治療につなげるため、胃、肺、大腸、乳、子宮及び前立腺のがん検診を実施する。また、胃がんの早期発見・早期治療を一層推進するため、胃がん検診において胃内視鏡検査を実施する。
予防接種事業	239,999	継	感染症予防のため、定期予防接種の実施及び任意予防接種補助金の交付等を行う。
難聴者補聴器購入費助成事業	2,000	新	聴力機能の低下により生活に支障をきたしている高齢者に対し、認知症予防の一助として補聴器の購入費の一部を助成する。
生活支援体制整備事業	18,063	継	地域における日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。また、新たに付き添い支援を開始する。
高齢者福祉計画2027・第10期介護保険事業計画策定事業	3,939	継	老人福祉法、認知症基本法及び介護保険法に基づき、令和9年度から令和11年度までの3年間を計画期間とする高齢者福祉計画2027・第10期介護保険事業計画を策定する。
リンクワーカー配置事業	9,525	継	支援が届いていない人を把握し、必要な支援への橋渡しをするとともに、地域のニーズを把握し、属性や世代の垣根を超えた「居場所づくり」を担うリンクワーカーを新たに1名増員し、地域共生社会の実現に向けた取組をさらに推進する。
民生委員・児童委員活動費補助金交付事業	20,206	継	地域福祉の担い手として住民の立場に立って相談に応じる民生委員・児童委員への支援を行う。

事業	予算額	新・継	事業内容
第四次北本市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業	3,971	新	社会福祉法に基づき、令和10年度から令和14年度までの5年間を計画期間とする第四次北本市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に着手する。
第四次北本市障害者福祉計画並びに北本市第八期障害福祉計画及び北本市第四期障害児福祉計画策定事業	3,951	継	障害者基本法に基づく第四次北本市障害者福祉計画と障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく北本市第八期障害福祉計画及び北本市第四期障害児福祉計画を策定する。

4 活力あふれるまち

(単位 千円)

事業	予算額	新・継	事業内容
シティプロモーション事業	13,136	継	まちの魅力を創出し、効果的に発信・活用することにより、市民のまちへの愛着を醸成するとともに、定住促進及び交流人口・関係人口の獲得を図る。
北本ブランド推進事業	500	継	農産物と加工品を&greenfoodの愛称のもとで周知し、販路の開拓や地域ブランド力の強化を図る。
農産物販売施設空調設備更新事業	14,861	新	経年劣化した農業ふれあいセンター内農産物直売所(桜国屋)の空調設備の更新工事を実施する。
農業次世代人材投資事業補助金交付事業	1,500	継	就農意欲の喚起及び就農の定着を図るため、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対する支援を行う。
ねふた絵製作事業	246	継	姉妹都市の会津坂下町の秋まつりで運行するねふたの絵を新たに製作し、市及び北本まつり「宵まつり」のPRを行う。また、ねふたの運行を通して交流を図る。
北本まつり運営事業	9,100	継	北本まつり「宵まつり」及び「産業まつり」を通して、ふるさと意識の醸成、地場産品等のPR及び事業者と市民との交流の促進を図るため、まつりの企画及び運営を行う。
北本カレーフェスティバル運営事業	6,000	継	北本トマトカレーを市内外へ広く周知するとともに、ブランド力を向上させるため、北本トマトカレー、全国のご当地カレー提供店舗が集結するイベントを企画し運営する。
森林セラピー事業	3,082	継	森林セラピー基地の認定制度を活用し、都心近郊に残された貴重な緑地空間と自然環境の良さを広くPRし、来訪者の市内滞留時間の拡大を図り、地域の活性化を推進する。

事業	予算額	新・継	事業内容
産業振興ビジョン策定事業	7,964	新	農業・商業・工業・観光の相互連携を確立し、市内産業の活性化を図るため、第六次北本市総合振興計画に基づき既存の産業振興ビジョンを更新し、新たに策定する。
女性職場環境改善補助金交付事業	500	継	女性が働きやすい職場環境の整備等に取り組む市内事業者に対し、整備等に要する経費の一部を補助する。
デーノタメ遺跡公有地化事業	651,950	新	国指定史跡となったデーノタメ遺跡を適切に保存・活用していくため、史跡指定地の公有地化を進める。
デーノタメ遺跡保存活用計画策定事業	3,980	継	文化財保護法に基づき、デーノタメ遺跡の保存・活用に関する基本的な方針や方向性等を定めるデーノタメ遺跡保存活用計画を策定する。
デーノタメ遺跡等普及啓発事業	2,753	継	デーノタメ遺跡をはじめとした市内縄文遺跡や縄文文化の価値や魅力を市民へ伝えるために、シンポジウムや縄文まつり等を実施する。
郷土芸能保存団体支援事業	405	継	市内に所在する民俗芸能団体について、その活動の支援のため、補助金を交付する。また、郷土芸能大会を開催し、広く市民へ民俗芸能団体の活動を周知し、後継者の育成につなげていく。

5 みんなが参加し育てるまち

(単位 千円)

事業	予算額	新・継	事業内容
平和啓発事業	729	継	平和や命の大切さについて、考える機会を与えることを目的に「平和を考える集い」などを実施する。また、平和を考える実行委員会の発足40周年に当たり、実行委員会の記念誌を発行する。
人権を守る市民の集い事業	493	継	市民が人権について考え、差別のない社会を築くことを目的に、人権を守る市民の集いを開催する。
第七次北本市男女行動計画策定事業	3,179	新	男女共同参画社会基本法に基づき、第七次北本市男女行動計画の策定に着手する。

6 健全で開かれたまち

(単位 千円)

事業	予算額	新・継	事業内容
埼玉県議会議員選挙事務事業	18,367	新	令和9年4月29日任期満了による埼玉県議会議員選挙を任期満了前30日以内に執行する。

事業	予算額	新・継	事業内容
北本市議会議員及び市長選挙事務事業	3,320	新	令和9年4月30日任期満了による北本市議会議員及び北本市長選挙を任期満了前30日以内に執行する。
職員研修事業	6,239	継	職務や担当業務に応じた研修を計画的に実施するとともに、専門研修や外部研修、視察研修等への参加機会を確保する。
旧勤労福祉センター解体条件付入札負担金事業	330,244	新	旧勤労福祉センター用途廃止にあたり、建物解体条件付入札を行い、解体費が土地評価額を上回った際にその差額を支払う。
健康増進センター解体事業	225,280	新	健康増進センター廃止に伴い、新館・本館の解体工事を行う。
A I 活用事業	2,426	継	業務の効率化及び市民サービスの向上を図るため、音声テキスト化システム等、A I を用いたツールを引き続き活用するとともに、新たに生成A I を活用する。

令和8年度一般会計補正予算の概要

1 補正予算の規模

一般会計（1号）	84,947 千円(補正後累計)	29,025,947 千円)
----------	------------------	----------------

2 一般会計補正（第1号）の内容

（歳出）

生活保護費等の追加支給事業	84,947 千円
---------------	-----------

※平成25年生活扶助基準改定に関する最高裁判所判決への対応を踏まえた保護費等の追加支給

（歳入）

国庫支出金（生活保護費負担金、生活保護適正実施推進事業費補助金）	65,667 千円
----------------------------------	-----------

繰入金（財政調整基金）	19,280 千円
-------------	-----------

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 文化財保護課
文化財保護担当 大平・坂田
048-594-5566
a04700@city.kitamoto.lg.jp

デーノタメ遺跡関連事業 史跡指定地の公有地化を開始します 「保存活用計画」は令和8年度中に策定完了予定



現在のデーノタメ遺跡指定地

きたもと縄文まつり2025

写真データ
提供可デーノタメ遺跡
付近の航空写真

令和6年10月11日に国指定史跡となった「デーノタメ遺跡」の確実な保存と活用のため、国庫補助金を活用し、**令和8年度から史跡指定地の公有地化を開始します。**

史跡の保存・活用に関する基本的な方針・方向性を定める「史跡デーノタメ遺跡保存活用計画」についても、令和8年度中に文化庁の認定を受けられるよう策定を進めます。

少しでも早く、市民の皆さまに史跡に親しんでいただけるよう、デーノタメ遺跡の整備に向けて取り組んでまいります。

予 算

6億5,868万3千円（うち国庫補助金 5億2,354万8千円）

内 容

- (1) 史跡指定地(一部)の用地購入（国庫補助率:80%）
- (2) 「史跡デーノタメ遺跡保存活用計画」の策定（国庫補助率:50%）
- (3) デーノタメ遺跡に関するシンポジウム等の開催
- (4) 縄文まつりの開催

担当者コメント



「デーノタメ遺跡」の史跡指定地について、いよいよ公有地化を開始します。史跡の確実な保存と、杜(もり)の管理、公園整備に向け、着実に取組を進めます。シンポジウムや縄文まつりも引き続き開催！これまでのノウハウ、人とのつながりを活かしながら、より多くの方が楽しめるイベントを目指します。

▼詳細はホーム
ページから

報道関係各位

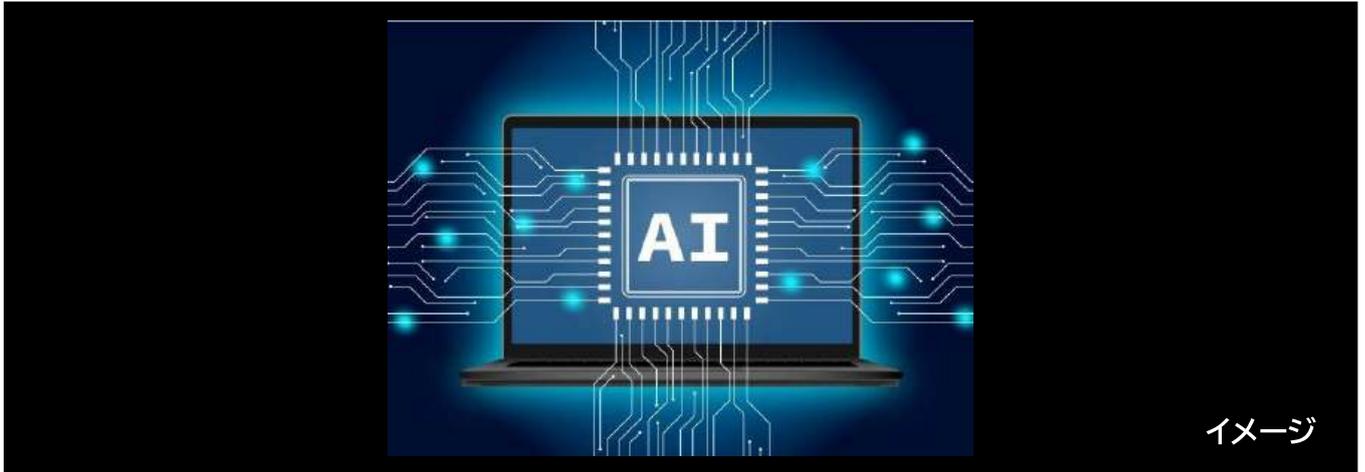


北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 政策推進課
DX推進担当 佐藤
048-594-5514
a02400@city.kitamoto.lg.jp

AI活用事業

AIで業務効率化と市民サービスの向上を図ります！



イメージ

業務の効率化と市民サービスの向上を図るため、**生成AIを導入します。**

本市では、これまで音声テキスト化システムなどのAI技術を用いたツールを活用してきました。**令和7年度に生成AIの職員向けトライアル(ゼロ予算の実証実験)を実施した結果、文書の作成や要約・校正業務などで、効率化や質の向上の効果が認められたことから、令和8年度から導入し、活用を推進します。**

今後も、デジタル技術を効果的に取り入れることで、業務の効率化と市民サービスの向上を図ります。

予 算

242万6千円

事業内容

(1)生成AIの活用(新規) 1,122千円

行政文書の作成、要約・校正等に活用し、職員の業務の効率化とDXリテラシーの向上を図ります。

(2)音声テキスト化システムの活用(継続) 660千円

会議や打合せ内容の音声自動で文字化することにより、情報共有・記録作成を円滑化し、業務の効率化を図ります。

(3)AI-OCRの活用(継続) 644千円

手書き文書や申請書の文字を自動でデータ化することにより、正確なデータの活用と業務の効率化を図ります。

担当者コメント

AIの活用について、令和8年度は新たに生成AIを活用することで文書の作成や要約・校正等の業務時間の短縮を図り、その時間をより丁寧で質の高い市民対応などに活用していきます。

一方、生成AIの特性として、情報の正確性や情報漏えいなどのリスクがあるため、職員を対象に定期的に研修を実施し、適切な生成AIの活用を推進します。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 共生福祉課
地域共生担当 長島
048-594-5517
a03300@city.kitamoto.lg.jp

リンクワーカーを2名体制に拡充します

重層的支援体制整備事業

全国初!
公設リンク
ワーカー配置中



事業概要

リンクワーカーとは、人と人・人と福祉サービスや地域資源とを橋渡しをしてつなぐ役割を担う人材です。

必要な支援とつながっていない人を把握し、適切な支援やサービスにつなげるとともに、多世代・多機能型の居場所を運営する等、地域の支え合いの仕組みづくりを行います。市で取り組んでいる重層的支援体制整備事業の一環として、今年度から展開しており、令和8年度からは**1名増員し、2名体制で実施**します。

予算額

952万5千円（2名分）

実施内容

(1) フォーマルな支援とインフォーマルなサービスとの架け橋

行政などの公的機関による支援（フォーマルな支援）と民間活力や地域に根差した活動（インフォーマルなサービス）との橋渡し役を担います。

(2) 地域住民のニーズや生活課題の把握

地域の様々な機会に顔を出しながら潜在的なニーズや課題を抱えている市民の把握に努めます。

(3) 地域住民の活動支援や情報発信

把握した情報をもとにニーズや課題に柔軟に対応し地域住民主体の活動を活性化させられるよう活動の支援や情報発信を行います。

(4) 地域コミュニティを形成する「居場所づくり」

地域住民が、属性や世代の垣根を超えて地域の様々な人と関わり安心して過ごすことができる場として、多世代・多機能型の居場所を運営します。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 健康づくり課
健康推進担当 川崎
048-594-5545
a03600@city.kitamoto.lg.jp

胃がん検診で胃カメラも選択可能に

胃内視鏡検診事業



胃がんの早期発見・早期治療を一層推進するため、**内視鏡検査(いわゆる胃カメラ)を新たに導入**し選択できるようにします。

本市の胃がん検診は、胃部エックス線(バリウム)検査による集団検診を実施しています。**令和8年7月から11月に胃内視鏡検査の個別検診を実施し、検診精度の向上を図ります。**

胃がんは、早期に発見することで治療成績の向上が期待でき、胃内視鏡検査が検診精度の高い方法とされています。

検診の自己負担額、申込み方法等の詳細については、今後、広報きたもとや市ホームページ等を通じて、周知します。

予 算 **517万7**千円

検診期間 **7**月から**11**月まで

実施場所 市内9医療機関(予定)

対象者

次の条件を全て満たす人

- ①受診する年度末時点で50歳以上の偶数年齢の人
- ②同一年度に市の胃バリウム検査(集団検診)を受けない人

定 員

300人

担当者コメント



国の指針等を踏まえ、桶川北本伊奈地区医師会や関係医療機関と連携しながら胃内視鏡検査の導入を準備してまいりました。安全性を重視し、引き続き適切な検診体制の確保に努めます。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 健康づくり課
母子保健担当 築根
048-594-5544
a03600@city.kitamoto.lg.jp

就学前に子どもの特性を発見し、適切な支援につなげる

5歳児健康診査事業

鴻巣保健所
管内初



5歳児は、運動機能や言語の理解能力の発達が一層高まる時期です。

「落ち着きがない」「動きがぎこちない」「友達とうまく関われない」など、**特性を早期に把握し、お子さんに合った就学支援などにつなげるため、5歳児健診を始めます。**

小学校1年生の12%(およそ8人に1人)は、「学習面又は行動面で著しい困難を示す」という調査結果(※)があります。初めての学校生活で困難な状況が続くと、自己肯定感が下がってしまう心配があります。

そのため、就学時健診より前段階で健診を行うことにより、保護者に子どもの特性に気づいてもらい、**学校・保育所・幼稚園・児童発達支援センター等と連携し、スムーズな就学に向けての支援につなげます。**

※「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」令和4年文部科学省

予 算

227万9千円

開始時期

7月から

実施場所

北本市保健センター
(栄市民活動交流センターB棟3階)

対象者

5歳に達する市内在住の子ども

健診内容

- ・発達に関するアンケート
- ・集団遊び(行動観察)
- ・問診
- ・身体計測
- ・医師による診察
- ・結果説明
- ・保健指導(生活習慣)、専門相談(子育て相談・栄養相談・心理発達相談・療養相談・教育相談)



担当者コメント

子どもたちが、小学校で元気いっぱい楽しく過ごすことができるように、健診や相談を通じて、切れ目のない支援をしていきます。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 高齢介護課
高齢者福祉担当 鈴木
048-594-5539
a23000@city.kitamoto.lg.jp

難聴者補聴器購入費助成事業 「聞こえる」安心で、くらしを豊かに



写真はイメージです

中等度難聴のため生活に支障が生じている65歳以上の人を対象に、難聴者補聴器購入費助成事業を実施します。

加齢による聞こえの低下は、単に会話が聞き取りにくくなるだけでなく、人との会話や外出が減り、社会的な孤立や、認知症のリスクにつながりやすいことが指摘されています。

補聴器購入を支援することで、高齢者の社会参加と認知症予防につなげる取り組みを始めます。

予 算

200万円

助成開始日

5月1日(金)から

助成内容

20,000円を上限として、補聴器の購入費用の一部を助成
※申請(助成金交付決定)前に購入した補聴器は対象外

対象者

- ・ 申請日において市内に住所を有する満65歳以上の人
- ・ 両耳の聴力レベルが40dB以上で、耳鼻科医師の意見書を得ることができる人
- ・ 聴覚障害による身体障害者手帳の交付対象とならない人
- ・ 市税等の滞納がない人

担当者コメント

補聴器購入を支援することで、高齢者が会話や外出を安心してできるようになり、いつまでも地域社会とつながり続けられるよう後押しします。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 教育総務課
総務・政策担当 谷岡
048-594-5561
a04400@city.kitamoto.lg.jp

卵・乳アレルギーのある生徒も一緒に **プッチン!**

アレルギーの有無に関係なく、すべての生徒が「ニッコリ」できる給食デザートを



通常品

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

北本市 × Glico
kitamoto city



卵・乳アレルギー対応品

植物生まれのプッチンプリン 卵・乳不使用

アレルギーのある子どもにも食べてもらいたいとの思いから開発された「植物生まれのプッチンプリン」は、卵や牛乳不使用でも、豆乳やアーモンドペーストを使ったコクのある味わいです。

卵・乳などを使用せず、アレルギーのある生徒も食べられる「植物生まれのプッチンプリン」を官民が連携して給食提供することで、**みんなが同じデザートを楽しめる時間を創出**します。また、給食提供日には、グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社が取り組むリサイクル活動を紹介していただき、環境問題への関心を高めるとともに、自分たちができる環境負荷軽減への取り組みについて考える機会とします。

本事業は、市内に工場を構えるグリコマニュファクチャリングジャパン株式会社北本工場と北本市との包括連携協定に基づき実施します。

給食提供日 2月25日(水) 毎月25日は
プリンの日 **給食時間** 12:40~13:20

実施校 北本市立東中学校（北本市山中2-128）

内容 **県内初の取り組み**となります。
毎月25日は「プリンの日」とされていることから、この日に「プッチンプリン」を給食で提供し、アレルギーの有無を問わず、すべての生徒が「ニッコリ」できる時間を共有します。



担当者コメント

今回、卵・乳アレルギーのある生徒も含め、子どもたちみんなが同じものを一緒に食べられる「楽しく・おいしい給食」が、グリコ様のご協力により実現します。また、グリコ様が取り組む環境への配慮についても学ぶ機会にしたいと考えています。生徒の皆さんには、給食を楽しむだけでなく、食物アレルギーへの理解が深まり、環境問題への関心が高まることを願っています。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 教育総務課
総務・政策担当 今川
048-594-5561
a04400@city.kitamoto.lg.jp

小・中学校に電話通話録音機器を導入

教職員の負担軽減と安心・安全な教育環境の確保を目指して



イメージ

学校現場では、多岐にわたる要望や問い合わせへの対応が教職員の大きな負担となっており、本来集中すべき児童・生徒への教育指導に影響を及ぼす懸念が生じています。

学校業務の適正な執行と教職員の心身の健康保持、安心・安全な教育環境の確保等を目的とし、**市内全11校に電話通話録音機器を導入します。**

目的

学校業務の適正な執行と教職員の心身の健康保持、教育指導上の紛争防止、安心・安全な教育環境の確保等

内容

市内小学校(7校)・中学校(4校)の全11校に電話通話録音機器を各校1台導入。
※回線の混雑を避けるため、通話開始時に録音する旨の案内は原則行いません。

導入時期

2月から順次導入

その他

録音データは、個人情報の保護に関する法律等に則して適正に取り扱います。
中丸小学校・北中中学校では、令和8年1月より試験運用を開始しています。

担当者コメント

学校が地域や保護者の皆様と良好な信頼関係を築くためには、正確な情報共有と冷静な対話が不可欠です。通話録音機器の導入は、教職員の安全を守るだけでなく、事案の早期解決を促し、結果として子どもたちへの教育活動をより充実させるためのものです。ご理解とご協力をお願いします。

報道関係各位



北本市

kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 学校教育課
指導担当 加藤
048-594-5564
a04500@city.kitamoto.lg.jp

ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会 日本選手団旗手／車いすカーリング日本代表

北本市立宮内中学校 事務職員 小川^{あき}亜希 選手 生徒による壮行会を開催！！



写真データ提供可



令和7年4月30日表敬訪問時撮影

北本市立宮内中学校事務職員の小川亜希選手が、3月6日から開催される「ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会」に、**車いすカーリングの日本代表として出場**するとともに、**日本選手団の旗手**を務めることが決定しました。

下記のとおり、**壮行会を生徒主体で開催**します。ぜひ、ご覧ください。

日時

2月19日(木) 15:20~15:50

場所

北本市立宮内中学校 体育館（北本市宮内4-322）

内容

- ・吹奏楽部の演奏による入・退場
- ・生徒からの応援旗贈呈
- ・生徒会長より応援の言葉
- ・全力校歌
- ・小川選手より大会に向けてのコメント

対応者

報道機関等現場対応者 北本市立宮内中学校教頭 ^{たにかげ}谷掛
【連絡先】 048-543-2900

担当者コメント

小川選手にとっての夢の舞台が目前に迫ってきました。パラリンピックを迎えるまでの努力は計り知れません。努力の成果を存分に発揮してもらいたいです。そして、生徒たちからの熱く温かいエールを追い風に、ミラノ・コルティナでの活躍を心より願っています！！

報道関係各位



北本市

kitamoto city

令和8年2月12日

北本市役所 市長公室
 シティプロモーション・広報担当
 秋葉 048-594-5505
 koho@city.kitamoto.lg.jp

広報きたもとが 埼玉県広報コンクール

広報きたもとが広報コンクール埼玉県審査の広報紙部門・一枚写真部門・組み写真部門で1位となり、全国に進みます。

3部門で1位



R7.10月号
 広報紙部門(市)1位

R7.8月号
 一枚写真部門1位

R7.6月号
 組み写真部門1位

自治体広報の甲子園・令和8年全国広報コンクールの埼玉県審査結果が発表され、

「広報きたもと令和7年10月号」が広報紙(市)部門で1席(27点中1位)

「広報きたもと令和7年8月号」表紙が一枚写真部門で1席(36点中1位)

「広報きたもと令和7年6月号」表紙が組み写真部門で1席(25点中1位)

に選ばれました。埼玉県推薦作品として、全国広報コンクールへ進出します。

「広報きたもと」が埼玉県審査の3部門で1位に選出されたのは初となります。

埼玉県審査で1位となったのは、

- ・「財政状況伝えるマン」(職員が扮したヒーローが市の財政状況を分かりやすく伝える実写マンガ風特集)を載した平成28年11月号(広報紙(市)部門・全国広報コンクール入選)
 - ・北本の農産物の特集を掲載した令和3年7月号の表紙(一枚写真部門)
 - ・家庭や職場・学校に次ぐ第3の居場所の特集を掲載した令和4年9月号(広報紙(市)部門・全国広報コンクールで内閣総理大臣賞受賞)
 - ・「障がいへの眼差し」をテーマに障がいのあるお子さんを持つ母親たちや福祉事業所、障がい者グループホーム等取材した令和5年10月号(広報紙(市)部門・全国広報コンクール入選)
- に続いて5度目となります。



広報きたもと令和7年10月号 【広報紙部門(市部)1位】

特集「これが私の里山ライフ」全14ページを含む計36ページの広報紙。特集では、減少の一途をたどる北本の里山について、「守るべき過去の遺産」ではなく、「現代を生きる私たちに新たな豊かさを提案する里山ライフスタイル」として描くことを目的に、

- ・30年以上も雑木林の保全を続ける「北本雑木林の会」
- ・4人の子育てと会社勤めと並行して子どもも大人も集まる畑コミュニティづくりを実践する「だいじょうぶだ村」
- ・かつて“追いはぎが出そうだった”と言われた荒川沿いに、水鳥が羽を休める田んぼづくりを10年以上続ける「荒川わらの会」

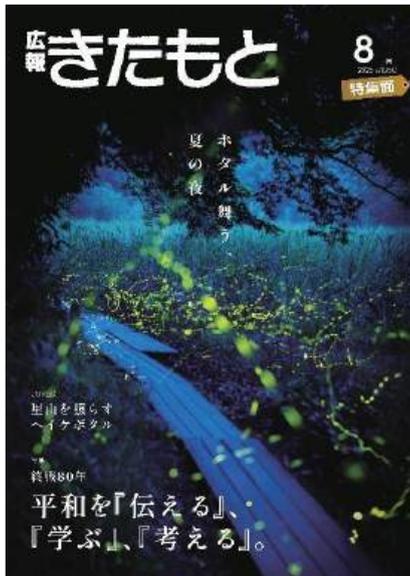
にそれぞれの生活、そして人生と里山との関わりについて語っていただきました。

また、伝統的な里山(雑木林)を活用した農の営みや地権者としての想いを、19代続く農家「いとうふあーむ」さんにお聞きしています。さらに、紙面で登場した里山の風景等を実際に歩いてめぐる「里山めぐりページ」を特集最後に掲載し、読み物としても、目で見ても北本の里山ライフの魅力を感じていただける内容となっています。

審査員講評

- 取材量、情報量に圧倒された。里山に誇りを持つ当事者たちや取材者(広報課員)の熱い思いが「これでもか」と伝わってくる。「お金を介さない世界が見たい」といった印象的な言葉をクローズアップするレイアウトは好き嫌いが分かれるかもしれないが、個人的には好きだ。
- 特集面などは民間のフリーペーパーのようなおしゃれなつくり。裏から見ると情報面という使い分けも読みやすい。
- 企画・取材・編集・デザインすべてを職員が実施している広報紙とは思えない記事力、デザイン。里山を様々な角度から広報しており、北本市で暮らすことの豊かさをイメージできる。
- 地元の資源をあますことなく紹介。かなり時間と手間をかけ、充実した内容になっている。
- 特集は編集者の思いが伝わってくる充実した構成。北本の里山ライフのすばらしさを市民目線で伝えているので、読者が北本市の魅力を感じて実感できる。写真や色味も統一感があるデザインとなっている。しかし、非常に文章量が多く、また余白が少ないので、文章を読むのが苦手な方は、読み進められない懸念も感じてしまった。

なお、コンクールの応募の際は、取材した皆さんから「ほかに活動している皆さんのことも詳しく知ることができて安心した」「SNSを中心に発信してきたが、広報紙に掲載されたことで地域からの信頼性が増した」「広報紙を読んで自分たちの活動に興味を持った人から問い合わせがあった」等のコメントをお寄せいただき、応募用紙にも反映しました。



広報きたもと令和7年8月号 【一枚写真部門1位】

北本市の昆虫「ハイケボタル」が北本自然観察公園内の木道を飛び交う様子を収めた写真を表紙に採用しました。

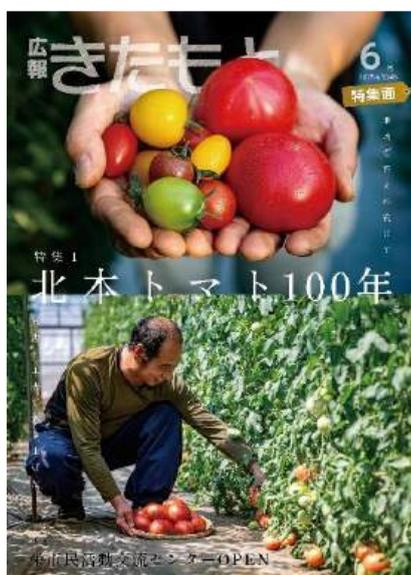
ハイケボタルは、水が動かない湿地を好みます。北本ならではの里山「谷津」(大地を湧き水が侵食してできた地形。谷底は泥深い湿地となっている)はハイケボタルの格好の住処であり、北本自然観察公園がこの谷津の生物多様性を保全し続けることで、現代も夏の時期にハイケボタルを観察することができるのです。

木道を画面手前から奥に向かうような奥行きのある構図をベースにしたことで、実際に北本自然観察公園内を散策しているときの視界を表現。また、ハイケボタルならではの点滅しながら飛び交う様子を、単焦点レンズを使うことで柔らかな光跡として収めることができました。

撮影時は、ホタルの光の邪魔にならないよう、スマホは使わないことはもちろん、カメラのセンサーライトもガムテープでふさぎ、三脚を設置した場所で通行者の邪魔にならないよう、息を殺しながら2～3時間近くシャッターを切り続けて仕上げた写真です。

審査員講評

- ネイチャー系を撮るのに、あえて木道を画角に入れる技術力が素晴らしい。この木道を入れることで、人を誘うという目的が示唆され、ここに来ればこの写真のようなホタル舞う幻想的な風景に出会えると見た人に感じさせる。また、広報紙名などが入ることも撮影時に意識しているため、トリミングの必要がない完璧な構図。
- 文字がしっかり見えるようになっている。世界観が分かりやすい、きれいな一枚。
- 真ん中にある橋と同じ位置にホタルがいて繋がっているところが、テーマである「平和」を考える、学ぶ、伝える、そういった北本にともに行こう、とホタルが道を導いてくれているよう。



広報きたもと令和7年6月号 【組み写真部門1位】

北本市は、全国でも先駆けて大正14年からトマトの栽培を開始した「トマトのまち」です。令和7年はトマト栽培が始まって100年目を迎えることから、その歴史を振り返り、現在の北本トマトの魅力伝える特集「北本トマト100年」を掲載することとなりました。

表紙は、北本で実際に栽培される大きさも色も様々なトマトを抱えた手のアップの写真と、青々とした苗に実った真っ赤なトマトを収穫する農家さんの写真を組み合わせています。

上部の写真は、トマトの質感を際立たせるため、「広報きたもと」のロゴの上に切り抜いた大玉トマトを重ね、まるで紙面から読み手に向かってトマトが飛び出してくるような立体感を出しました。下部の写真は、苦労して育てたトマトが真っ赤に熟れたのを見て、思わず顔をほころばせながら収穫する生産者さんの表情がポイントです。いずれも市内の生産農家さんに撮影協力いただき、特集面3-4ページでは生産者のこだわりや直売所情報を掲載し、読んだ人が実際にトマトを買いに行ける内容にしています。

審査員講評

- 写真をたてた表紙で、写真家だったら冥利に尽きる。トマトを収穫している姿、緑のきれいき、トマトの盛り、どこをとってもシンプルで本当にいい写真だと思った。その写真を邪魔しない文字配置も秀逸。よく「きたもと」の文字を後ろに下げたと思った。
- 後ろに下がった「と」の丸みがトマトとちょうど重なることで、「きたもと」の「と」はトマトの「と」というのを想起できていいな、と感じる。真ん中のコピーの北「本」の横棒が写真同士の切れ目にピッタリ重なっているのも上手い。この表紙を見ると北本のトマトを食べたい、買いたいと思わせる。
- やはり生産者さんの笑顔が良い。全体の写真の抜けがよく美しい。また、写真二枚の組み写真で、サイズもほぼ同じ2枚を並べるとつい二分しがちだが、キャッチコピーが真ん中に入ること写真同士の切れ目の違和感が薄れており、レイアウトも上手いと感じた。元写真のとおりの色印刷できるとなおよい。
- トマトの赤が引き立つ。

広報コンクールとは

全国広報コンクールは、地方自治体の広報活動の向上に寄与することを目的に、各種広報作品についてコンクールを行い、優秀団体を表彰するものです。日本広報協会の主催により、1964(昭和39)年から実施しています。

このコンクールは、都道府県別に「広報紙」「写真(一枚・組み)」「映像」「ウェブサイト」「広報企画」の部門の代表作品を決定し、全国で競います。いわば自治体広報紙の甲子園のようなものです。なお、全国広報コンクールの審査結果は、公益社団法人日本広報協会から5月初旬に発表される予定です。

担当者コメント

「自然を守ろう」だけじゃ、活動は続かない——これは、北本の里山の保全に従事する、ある市民の方の言葉です。生活必需でなくなってしまった里山をこれからの世代にも伝えるために何ができるかを考え、たどり着いたのが、里山ライフの魅力を伝える本特集でした。保全する皆さんが里山と関わる生活を続けていくうちに、人生の在り方そのものまで大きく影響されていくストーリーに、私自身も大きく魅せられていきました。「雑木林はクッション」「お金を介さない世界が見たい」といったその人だからこそ語ることのできる言葉に象徴されるように、どこにでも見えるように見える里山を北本オリジナルの魅力として伝えることができたと思います。取材協力いただいた皆さんに心から感謝を申し上げますと同時に、今回の結果を通じて北本らしい里山やホテル、北本トマトの魅力をより多くの方々に知っていただきたいと思います。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日

北本市役所 市長公室
シティプロモーション・広報担当
秋葉 048-594-5505
koho@city.kitamoto.lg.jp

広報きたもとが 自治体広報AWARD銅賞(3位)

担当者が選ぶ日本一の広報プレイヤー「自治体広報AWARD 2025」【主催：自治体広報LAB(合同会社LOCUS BRiDGE)】の広報紙部門において、広報きたもと令和7年10月号が銅賞(3位)を受賞しました。

R7.10月号

自治体広報AWARDとは

自治体広報AWARDは、全国の自治体広報に携わる職員の個々の工夫や思いに光を当て、互いに学び合いの機会をつくることを目的に、自治体の課題解決を支援する専門企業・合同会社LOCUS BRiDGEが創設したものです。

主催：自治体広報LAB／合同会社 LOCUS BRiDGE（事務局）

後援：王寺町、公益社団法人日本広報協会

募集期間：2025年11月4日(火)～12月19日(金)

審査員：自治体広報担当経験者で、広報紙づくりや取材のノウハウ、写真、SNS、企画等分野で活躍した実績をもとに、そのノウハウをオンラインコミュニティ自治体広報LABで共有する講師陣

- ▷兵頭裕次（愛媛県内子町）▷堀内智代（愛媛県西予市）▷橋内清隆（福島県伊達市）
- ▷村田大地（奈良県王寺町）▷金澤剛史（埼玉県久喜市）▷小出高也（愛媛県東温市）
- ▷村田充弘（奈良県生駒市）

受賞内容

受賞者 政策推進部市長公室シティプロモーション・広報担当 秋葉 恵実

平成25年入庁。協働推進課、すぐやる課、産業観光課を経て、平成30年3月から広報担当に配属。広報紙の編集・デザインまでを職員が行う内製化を開始し、紙面の魅力向上や取材に力を入れた特集で全国広報コンクール内閣総理大臣賞等を受賞。

応募作品 広報きたもと令和7年10月号



特集「これが私の里山ライフ」全14ページを含む計36ページの広報紙。特集では、減少の一途をたどる北本の里山について、「守るべき過去の遺産」ではなく、「現代を生きる私たちに新たな豊かさを提案する里山ライフスタイル」として描くことを目的に、里山の保全活動を自らの暮らしに落とし込み、里山ライフを謳歌する皆さん(下記)を取材しました。

- ・30年以上も雑木林の保全を続ける「北本雑木林の会」
- ・19代続く農家で、雑木林の落ち葉を活用した伝統的な方法でさつまいも作りを行う「いとうふあーむ」
- ・4人の子育てと会社勤めと並行して子どもも大人も集まる畑コミュニティづくりを実践する「だいじょうぶだ村」
- ・かつて“追いはぎが出そうだった”と言われた荒川沿いに、水鳥が羽を休める田んぼづくりを10年以上続ける「荒川わらの会」



紙面の特徴は、見開きの右面を写真で「魅せる」ページ、左面は想いを「読ませる」ページと役割分担を徹底した点。一つひとつのインタビューにしっかりと文字数を使うことで、里山とのかかわりが各々の暮らしや価値観、人生のあり方にどのように影響を与えていったのかを深掘りしました。

また、「私にとって雑木林はクッション」「お金を介さない世界が見たい」など、印象的なフレーズをランダムに配置し、読者の関心を集める紙面を目指しました。

特集最終ページには、市民リポーターが実際に里山スポットを楽しみながら歩いて巡る様子をリポートしています。

審査員コメント



「便利さとは別の豊かさとして里山の魅力を引き出した。言葉の選択も巧みで写真と響き合っている」

北本市に残る里山を舞台に、今を豊かに暮らす人々の姿を通して、里山を未来につなげようという特集。ただ残すだけではなく、新しい「里山ライフ」を提案する内容は、都市近郊でありながら自然環境が残る北本市ならではの

と思いました。&Greenのイメージも相まって、暮らしやすさが伝わります。

里山の暮らしを、どう未来につなげていくかは多くの地域の課題です。手をかけ関わり続けることで守られてきた里山を、昔のような営みでつなげるのは難しい。しかし「自らの手で暮らしを生み出す実感を持てること」を、今の暮らしに便利さとは別の豊かさとして、里山の新たな魅力を引き出しています。私たちのような田舎暮らしが身近な人間にとっても、とても参考になる特集でした。

レイアウトも素晴らしく、右開きの右側に大きな写真を配置し見せる紙面、左側にテキストを配置し読ませる紙面と、役割分担をすることで内容がずっと頭に入ってきます。「北本にはまだ、里山が生きている」「私にとって雑木林はクッション」など、言葉の選択も巧みで、写真と響き合っています。プルクオートを多用することで、時間のない読者に配慮しているのもポイントです。「文字量を多くしてしっかりと伝えたい」という担当者の思いを上手にカバーしていると思います。登場した住民の感想には「広報紙に出てよかった」「ほかの活動をする人の熱量を知れた」などがあり、人と人をつなぐ自治体広報紙としての役割を十分に果たしています。その上で、北本の生活文化の変遷としての記録を残し、里山を未来へつなぐ機運を高めるなど、使命感を持って取り組む担当者の思いが紙面にあふれています。(兵頭)

「取材対象者の言葉が全面的に出ているので説得力と臨場感もある。着地として市民リポーターが里山歩きを体験しているのも良い」

北本の里山を守り、活用し、楽しむ人たちに焦点を当てた特集。題名や小見出しの言葉のチョイスが良くプルクオートも効果的。全文読まなくてもページに何が書かれてあ



るか、この人の言いたいことは何なのか、簡潔に分かる言葉選びが力強い。取材対象者の言葉も全面に出ているので、説得力と臨場感もある。「だじょうぶだ村」のエピソードには感動した。特集の着地の1つとして、市民リポーターが実際に里山歩きを体験しているのも良い。

この特集を読んだ人は、実際に里山に出てみようと思うだろうし、中には市民レポーターに「一緒に行こう」と声をかけ、レポーター起点に交流の輪が広がっていく可能性もあるかもしれない。里山を楽しんでいる人たちの輪の中に入りたいと思うかもしれないし、中には保全活動に加わる人もいるかもしれない。里山が守られれば資源を未来につなぐこともできるし、里山を核に豊かなコミュニティも形成され続けられると思う。

より良くなる視点があるとするならば、力強さと引きの強さがある紙面である反面、若干詰め込みすぎな印象があるので、ホワイトスペースを確保する意識を持つことかもしれない。

とはいえ、これはもう一種の「スタイル」を確立している状態であるとも思うし、実際「北本スタイル」を真似た広報紙も全国にあるかと思うので、今後、現在の良さは残しつつ、他の追従を許さない新たな独自性と引きの強さを生む広報紙であり続けることを楽しみにしている。(堀内)

自治体広報AWARD広報紙部門 結果

金賞 広報かわまた令和7年12月号 福島県川俣町総務課文書広報係 佐藤 耀

銀賞 広報ふくち令和7年3月1日号 福岡県福智町企画振興課 仮屋 祐希

銅賞 広報きたもと令和7年10月号 埼玉県北本市市長公室 秋葉 恵実

(応募総数48件)

※広報紙部門・シティプロモーション部門・写真部門・クリエイティブ部門の応募数数141件

埼玉県広報コンクール1席(1位)も選出

今回AWARADに応募した広報きたもと令和7年10月号は、全国広報コンクール埼玉県審査において、広報紙部門(市部・応募数27点)で1席に選出され、全国審査へ進みます。北本市が埼玉県審査で1位に選出されるのは、本作で5度目です。



担当者コメント

本AWARDは、各自治体で広報・シティプロモーションに従事し、実績を残してきた職員の皆さんが審査員となり、評価を行うものです。尊敬する先輩方に評価いただいたこと、そして、この北本市という小さなまちの里山を核とした人々の豊かな暮らしの魅力が、紙面を通じて遠く離れた皆さんにも伝わったことに感動しています。ご協力いただいた市民の皆さんに深く感謝申し上げます。引き続き、わかりやすく伝わる広報を、行政と市民の皆さんに、そして市民と市民の皆さんの間に共感と信頼関係を生み出す広報にまい進していきます。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 文化財保護課
文化財保護担当 大平・坂田
048-594-5566
a04700@city.kitamoto.lg.jp

シンポジウム デーノタメ遺跡が拓く縄文の世界Ⅳ — 縄文の食文化に学ぶ —

写真データ提供可

プログラム ホール

開会・主旨説明	13:00 ▶ 13:15
特別研究講演 ・クリとクルミとトチノミと… 佐野 隆 / 茅ヶ岳歴史文化研究所 主任調査技師	13:15 ▶ 13:55
研究報告 ・土器のおコゲからみた生業活動 米田 穰 / 東京大学総合研究博物館 教授 ・木の実を食す 栗島 義明 / 明治大学黒耀石研究センター 専員研究員 ・縄文土器の製作と使用実験 阿部 芳郎 / 明治大学 文学部教授	13:55 ▶ 15:25
活動報告 ・デーノタメ縄文の杜プロジェクト 明治大学資源利用史研究クラスター協力員	15:25 ▶ 16:05
パネルディスカッション	16:15 ▶ 17:00
閉会	17:00 ▶

同時開催 ホワイエ

出土品等展示	12:00 ▶ 17:30
ガイドブック& 縄文みやげ販売	①12:00 ▶ 12:50 ②17:00 ▶ 17:30

昨年度国指定史跡になったデーノタメ遺跡に関するシンポジウムを今年も開催します！

一昨年好評だった「縄文時代の食文化」にさらに焦点を当て、最新の研究結果や、実際に試してみた成果を元に、北本の縄文人がどのようなものを、どうやって食べていたのかに迫ります。

出土品展&パネル展に加え、遺跡のガイドブックや、縄文みやげコンテスト優秀作品の販売も行います。

日 時

3月7日(土) 13:00~17:00 (開場12:00)

出土品展&市民活動パネル展、関連書籍販売、
縄文みやげ優秀作品販売会(12:00~17:30)

場 所

北本市文化センター
(北本市本町1-2-1)

プログラム

特別研究講演「クリとクルミとトチノミと…」 NPO法人茅ヶ岳歴史文化研究所 佐野 隆 氏
研究報告「土器のおコゲからみた生業活動」 東京大学総合研究博物館 米田 穰 教授
「木の実を食す」 明治大学黒耀石研究センター 栗島 義明 氏
「縄文土器の製作と使用実験」 明治大学 阿部 芳郎 教授
活動報告「トチとドンダリのアク抜き実践」 デーノタメ縄文の杜プロジェクト
「デーノタメ遺跡ガイドブック制作秘話」 明治大学資源利用史研究クラスター協力員
登壇者によるパネルディスカッション

担当者コメント



様々な先生方や市民の皆様の御協力の元、デーノタメ遺跡、そして縄文時代に関する研究・取組みが着々と進んでいます。今回初お披露目となるデーノタメ遺跡のガイドブックや、縄文みやげコンテスト優秀作品も販売予定！ぜひお越しください！！

▼詳細はホームページから



報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 生涯学習課
生涯学習担当 石橋
048-594-5567
a04600@city.kitamoto.lg.jp

第10回きたもとピアノフェスティバル

第10回きたもとピアノフェスティバル
令和8年3月15日(日) 開演11:50(開場11:30)
会場:北本市文化センター ホール 入場無料

【第1部】自由発表部門 ～スタインウェイを弾いてみよう～(12:00～)
【第2部】オーディション通過者による発表部門(15:20～)
【ゲスト演奏】ドゥオール(16:50～17:30)

＜観覧予定曲目＞
・ドビュッシー
・小泉正子 小舟にて
・タリガ
・トリスドヘラウグンの婚礼の日
・カサドバネ
・グランドグランド R-Div. 9.4.17より第1楽章
・よるよる
・神は知らぬに草も花も 第17V31
・カサドバネのグランドグランド
・莫文(複製付)

主催:北本市文化センター
共催:北本市生涯学習課
協賛:北本市音楽協会
お問い合わせ:048-594-5567



【ゲスト】ドゥオール
「ワールドクラスのデュオ」と高く評価される
ピアノデュオ・ドゥオール。国内外で活躍し、
CD全10枚が『レコード芸術』誌特選・準特選
盤に選出。2024年に結成20周年を迎え、
全国でリサイタルを開催。

©SHIN ISHIKAWA

音楽文化の創造と発展、向上のため、「きたもとピアノフェスティバル」を開催します。
第1部では、ピアノの練度に関係なく、スタインウェイを弾いてみたいという人が演奏を行
い、第2部では、オーディションを通過した人が発表します。また、今回はゲストとして、ピ
アニストのドゥオール様をお招きし、この日だけの特別なリサイタルを開催します。

3月15日(日) 開場11:30、開演11:50

日時

【第1部】 12:00～ 自由発表部門 ～スタインウェイを弾いてみよう～
【第2部】 15:20～ オーディション通過者による発表部門
【ゲスト演奏】 16:50～17:30 ピアノデュオ・ドゥオールによるリサイタル

場所

北本市文化センター (北本市本町1-2-1)

入場料

無料



担当者コメント

今年は49組の出演者がそれぞれの想いを乗せ、スタインウェイピアノで演奏しま
す。また、ゲストに一流のピアニストの方をお呼びしました。無料で演奏を聴くこ
とができる貴重な機会となっていますので、ぜひ会場へお越しください。

▼詳細はホーム
ページから



報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 市長公室
シティプロモーション・広報担当
山本
048-511-9119
citypro@city.kitamoto.lg.jp

みどりとまつり-&green fes-を開催



毎年盛況の「みどりとまつり-&green fes-」は今年で開催5周年を迎えました。

本市のシティプロモーションコンセプト「&green-豊かな緑に囲まれた、ゆったりとした街の中で、あなたらしい暮らしを-」をもとに、様々なコンテンツを通して北本での暮らしや人と人が繋がる豊かさを実感できるイベントです。

日 時

3月20日(金・祝) 10:00~15:00

場 所

北本総合公園
(北本市古市場1-167)

内 容

- ・アコースティックなどの音楽ライブ・踊り
- ・市内外のキッチンカーや個店を集めた大規模なマーケット(約100店舗出店予定)
- ・北本のみどり溢れるイベント体験(プレーパークや焚火など)

コンセプト

障がいの有無や年齢、社会的マイノリティなどに関係なく、生活や権利が保障された環境を作っていく「ノーマライゼーション」の考え方をテーマに掲げ、福祉団体の出店や環境に配慮した取り組みを行い、誰もがその人らしく楽しめることを目指しています。



担当者コメント

「みどりとまつり-&green fes-」が5度目の開催を迎えます。北本らしいゆったりとした雰囲気のおまつりをお楽しみください！



昨年の様子はこちら

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 都市計画課
公園担当 穴沢・生駒
048-594-5547
a03900@city.kitamoto.lg.jp

北本さくらまつり2026

～桜満開の下でお花見をお楽しみください～

北本市の木「桜」に親しんでいただくため、北本さくらまつり2026を開催します。

歌や踊りなどのステージ発表のほか、地元商店やキッチンカーも出店し、子どもたちに人気のふわふわドームをご用意します。また、公園北側のカタクリ自生地で見学会も開催します。

毎年約15,000人の来場者で賑わうおまつりにぜひお越しください。



日 時

3月28日(土)・29日(日)
10:00～15:00

場 所

高尾さくら公園
(北本市高尾6-350-1)

概 要

- ステージイベント
(式典、歌やダンスの披露)
 - 地元商店による野菜や地場製品の販売
 - キッチンカーの出店
- 共催 北本市、
北本市観光協会、地元自治会
主管 北本市都市公園指定管理者
後援 北本市教育委員会、北本市商工会

同時
開催

カタクリ見学会



市の野草「カタクリ」



会場は、北本駅・市役所・会場を結ぶ便利なシャトルバスをご利用ください。

当日、高尾さくら公園常設の駐車場はご利用いただけません。

お車でお越しの場合は、臨時駐車場(北本水辺プラザ公園)をご利用ください。

担当者コメント

今年も来園された方全員が楽しめるよう、たくさんのお店やイベントを用意しています。全国から集められた30種類、約200本の桜が皆さんをお待ちしています。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 都市計画課
公園担当 穴沢・長野・生駒
048-594-5547
a03900@city.kitamoto.lg.jp

こどもとみどりのフェスティバル2026

～新緑につつまれた楽しいひと時を～



写真データ提供可

新緑の中、一日動物村やストラックアウト、釣りっこゲームなど、子どもたちが楽しめるイベントの他、ステージ発表やキッチンカーも出店し、8,000人の来場者で賑わいます。
(催し内容は予定)

日時

4月29日(水・祝)
10:00～15:00

場所

北本市子供公園
(北本市石戸宿3-225)

共催

北本市、北本市レクリエーション協会、
北本市都市公園指定管理者

ヤギの「お名前」募集中

市民から寄贈されたトカラヤギ(メス、2024年6月生まれ)の名前を募集中です。応募者には抽選で5人にプレゼントもあります。
決定した名前は、こどもとみどりのフェスティバル2026で発表します。

募集期間 3月31日まで



担当者コメント

子どもたちに自然の大切さを感じてもらいながら、大人も一緒に楽しめるイベントです。自然に囲まれた楽しい1日を、ぜひ北本でお過ごしください！
様々な催しをご用意して、皆さんをお待ちしています。



報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和8年2月12日
北本市役所 産業観光課
商工労政・観光担当 高野
048-594-5530
a03100@city.kitamoto.lg.jp

北本カレーフェスティバル2026

有名ご当地カレーが北本に集結！

写真データ提供可



北本カレーフェスティバル2025

※2026は北本総合公園で開催します。



北本トマトカレー

北本カレーフェスティバル2026を開催します。次年度は開催日を二日間に拡大し、6月6日・7日に北本総合公園で開催します。

有名ご当地カレーや、地元を代表する北本トマトカレーなど、特色あるカレーが一堂に会い、出店者たちが自慢のカレーを提供します。地域ブランドの強化と地元飲食店の支援を図るとともに、住民や観光客に交流の場を提供します。地元のB級グルメを発信し、地域の魅力を高めることで、観光客の誘致や地域経済の活性化だけでなく、関係人口の創出も図ります。

日時

6月6日(土)・7日(日) 10:00~15:00

場所

北本総合公園(北本市古市場1-167)



担当者コメント

有名ご当地カレーや地元名物の北本トマトカレーなど、個性豊かなカレーを提供することで、地域住民や観光客の交流を深め、地域ブランドをさらに強化していきたいと考えています。多くの方々に参加していただき、北本の魅力を再発見してもらえることを期待しています。



北本市定例記者会見

令和8年2月12日（木）



令和8年第1回北本市議会定例会

招集日 令和8年2月19日（木）

議案 条例 7件

事件議決 1件

予算 14件

合計 22件



主な議案

- ・ 令和7年度北本市一般会計補正予算（第9号）
- ・ 令和8年度北本市一般会計予算
- ・ 北本市職員の給与に関する条例の一部改正について



令和7年度北本市一般会計補正予算等

資料1

補正予算規模

一般会計（第9号）	△1億7,494万円
後期高齢者医療特別会計（第2号）	7,945万7千円
久保土地地区画整理事業特別会計（第3号）	△3億6,524万5千円
国民健康保険特別会計（第3号）	3,661万1千円
介護保険特別会計（第5号）	△1億1,714万7千円
埼玉県央広域公平委員会特別会計（第1号）	4万1千円



令和8年度一般会計予算総括

- ◆安心安全な都市基盤整備の推進
- ◆魅力あるまちづくりの推進
- ◆持続可能なまちづくりの推進



令和8年度一般会計予算規模

資料2

一般会計 **289億4,100万円** ※当初予算過去最大

(R7年度 280億1,700万円 9億2,400万円 3.3%増)

全会計合計 **461億5,014万7千円**

(R7年度 448億7,143万5千円 12億7,871万2千円 2.8%増)



令和8年度主要・新規事業



デーノタメ遺跡関連事業

資料3 P1

予算額 6億5,868万3千円

史跡指定地の公有地化を開始します

事業内容

- (1) 史跡指定地(一部)の用地購入
- (2) 法定計画「史跡デーノタメ遺跡保存活用計画」の策定
- (3) デーノタメ遺跡に関するシンポジウム等の開催
- (4) デーノタメ遺跡を含む縄文文化を普及啓発するための縄文まつりの開催



AI活用事業

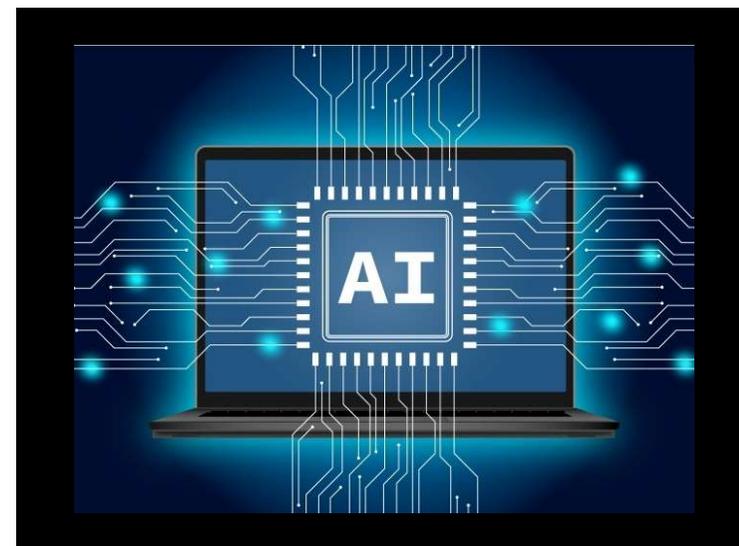
資料3 P2

予算額 242万6千円

AIで業務効率化と市民サービスの向上を図ります！

事業内容

- (1)生成AIの活用(新規)
行政文書の作成、要約・校正等
- (2)音声テキスト化システムの活用(継続)
会議や打合せ内容の音声を自動で文字化し、情報共有・記録作成を円滑化
- (3)AI-OCRの活用(継続)
手書き文書や申請書の文字を自動でデータ化し、正確なデータの活用と業務の効率化



重層的支援体制整備事業

資料3 P3

予算額 952万5千円

～リンクワーカーを1名増員し、2名体制に拡充します～

開始時期

4月

事業内容

- (1) フォーマルな支援とインフォーマルなサービスとの架け橋
- (2) 地域住民のニーズや生活課題の把握
- (3) 地域住民の活動支援や情報発信
- (4) 地域コミュニティを形成する「居場所づくり」

全国初!
公設リンク
ワーカー配置中



胃内視鏡検診事業

資料3 P4

予算額 517万7千円

～胃がん検診で胃カメラも選択可能に～

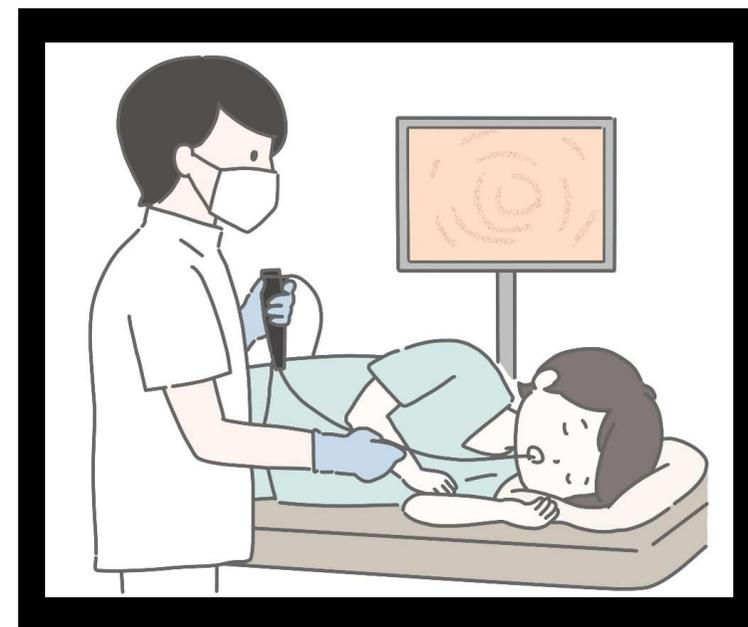
検診期間

7月から11月まで

対象者

次の条件を全て満たす人

- ①受診する年度末時点で50歳以上の偶数年齢の人
- ②同一年度に市の胃バリウム検査(集団検診)を受けない人



5歳児健康診査事業

資料3 P5

予算額 227万9千円

～就学前に子どもたちの特性を発見し、適切な支援につなげる～

開始時期

7月から

対象者

5歳に達する市内在住の子ども

健診内容

- ・ 発達に関するアンケート
- ・ 医師による診察
- ・ 集団遊び(行動観察)
- ・ 保健指導(生活習慣)
- ・ 問診
- ・ 専門相談(子育て相談・栄養相談・心理発達相談・療養相談・教育相談)
- ・ 身体計測

鴻巣保健所
管内初



難聴者補聴器購入費助成事業

資料3 P6

予算額 200万円

「聞こえる」安心で、くらしを豊かに

助成
開始日

5月1日(金)から

助成内容

補聴器の購入費用に対し、
上限**20,000円**を助成

対象者

- ・申請日において市内に住所を有する満65歳以上の人
- ・両耳の聴力レベルが40dB以上で、耳鼻科医師の意見書を得ることができる人
- ・聴覚障害による身体障害者手帳の交付対象とならない人
- ・市税等の滞納がない人



※申請(助成金交付決定)前に
購入した補聴器は対象外



北本市からのお知らせ





卵・乳アレルギーのある生徒も一緒に**プッチン!**

県内初

北本市 × Glico
kitamoto city

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

アレルギーの有無に関係なく、すべての生徒が「ニコリ」できる給食デザートを官民連携事業で実現。

提供日
時間
実施校

2月25日(水) 毎月25日はプリンの日

12:40~13:20

北本市立東中学校
(北本市山中2-128)



通常品

卵・乳不使用

植物生まれのプッチンプリン

アレルギーのある子どもにも食べてもらいたいとの想いから開発された「植物生まれのプッチンプリン」は、卵や牛乳不使用でも、豆乳やアーモンドペーストを使ったコクのある味わいです。

卵・乳アレルギー対応品



小・中学校に電話通話録音機器を導入

教職員の負担軽減と安心・安全な
教育環境の確保を目指して

目的

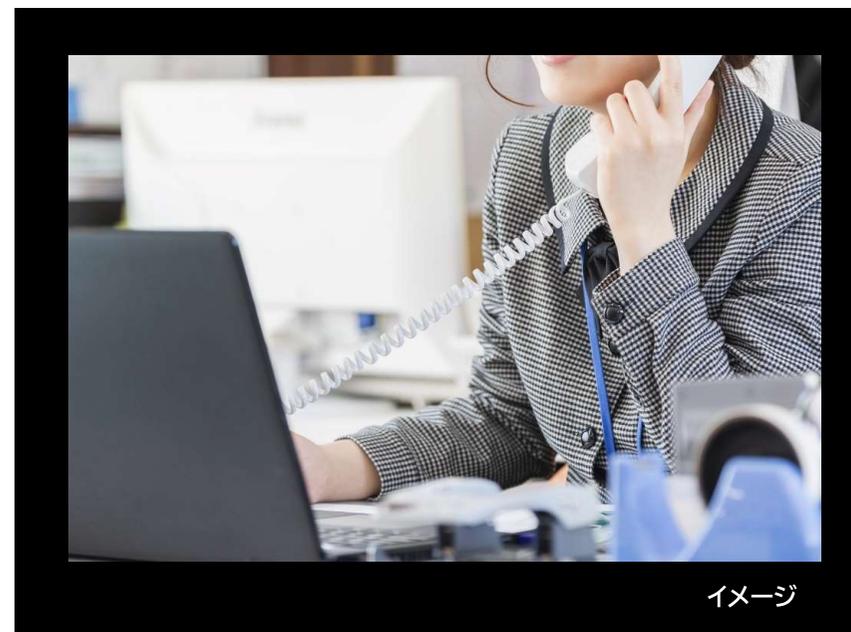
- ・ 学校業務の適正な執行と教職員の心身の健康保持
- ・ 教育指導上の紛争防止
- ・ 安心・安全な教育環境の確保等

内容

市内小学校(7校)・中学校(4校)の全**11**校
に電話通話録音機器を各校1台導入

導入時期

令和**8**年**2**月から順次導入



イメージ



生徒による小川^{あき}亜希選手の壮行会を開催

資料3 P9

ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会
日本選手団旗手・車いすカーリング日本代表
北本市立宮内中学校事務職員 小川亜希選手

日時

2月19日(木) 15:20~15:50

場所

北本市立宮内中学校 体育館
(北本市宮内4-322)

内容

- ・吹奏楽部の演奏による入・退場
- ・生徒からの応援旗贈呈
- ・生徒会長より応援の言葉
- ・全力校歌
- ・小川選手より大会に向けてのコメント



公開練習の様子



寄せ書きと世界選手権大会で
獲得した金メダル

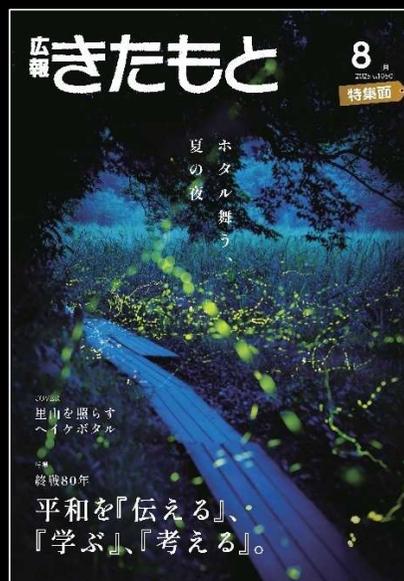


埼玉県広報コンクールの結果

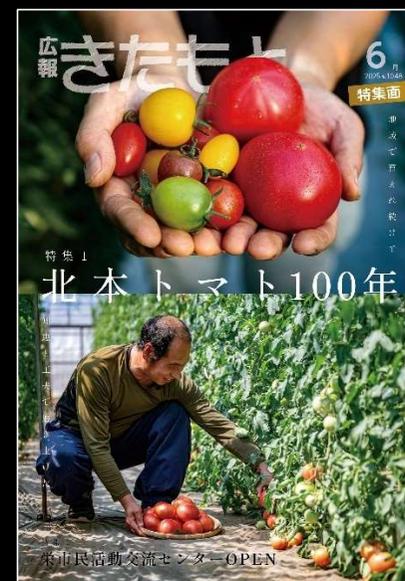
広報きたもとが3部門で1位



令和7年10月号
広報紙部門(市) 第1位



令和7年8月号
一枚写真部門 第1位



令和7年6月号
組み写真部門 第1位



自治体広報AWARDの結果

広報きたもとが銅賞(3位)

(応募総数48件)

受賞者

政策推進部市長公室
シティプロモーション・広報担当
秋葉 恵実

応募作品

令和7年10月号

主催

自治体広報LAB
／合同会社 LOCUS BRIDGE(事務局)



広報きたもと令和7年10月号



イベントのお知らせ





シンポジウム デーノタメ遺跡が拓く縄文の世界Ⅳ

資料3 P18

ー 縄文の食文化に学ぶ ー

日時

3月7日(土) 12:00開場 13:00開演
(出土品展等、展示解説:12:00~17:30)

会場

北本市文化センター (北本市本町1-2-1)

登壇

特別研究講演「クリとクルミとトチノミと…」
研究報告「土器のおコゲからみた生業活動」
「木の実を食す」
「縄文土器の製作と使用実験」
活動報告「トチとドングリのアク抜き実践」
「デーノタメ遺跡ガイドブック制作秘話」
登壇者によるパネルディスカッション





第10回きたもとピアノフェスティバル

日時

3月15日(日) 11:30開場 11:50開演

会場

北本市文化センター (北本市本町1-2-1)

内容

- 【第1部】 自由発表部門
～スタインウェイを弾いてみよう～
- 【第2部】 オーディション通過者による発表部門
- 【ゲスト演奏】 ピアノデュオ・ドウオール



ドウオール



みどりとまつり -&green fes-

資料3 P20

日時

3月20日(金・祝)
10:00~15:00

会場

北本総合公園
(北本市古市場1-167)

内容

- ・大規模マーケット
個店・キッチンカー約100店舗、
里山保全団体や福祉関係ブースも含む
- ・ネギ焼き体験
- ・アコースティック音楽ライブ

開催
5周年



北本さくらまつり 2026

資料3 P21

日時

3月28日(土)・29日(日)
10:00~15:00

会場

高尾さくら公園
(北本市高尾6-350-1)

内容

- ・ステージイベント
- ・地元商店による野菜や地場製品の販売
- ・キッチンカーの出店
- ・カタクリ見学会(雨天中止)



北本さくらまつり

市の野草「カタクリ」



こどもとみどりのフェスティバル2026 資料3 P22

日時

4月29日(水・祝)
10:00~15:00

会場

北本市子供公園
(北本市石戸宿3-225)

内容

- ・ 一日動物村
- ・ ストラックアウト
- ・ 釣りっ子ゲーム
- ・ ステージイベント
- ・ キッチンカーの出店



北本カレーフェスティバル2026

資料3 P23

日時

6月6日(土)・7日(日)
10:00~15:00

会場

北本総合公園
(北本市古市場1-167)

内容
(予定)

- ・ 有名ご当地カレー出店
- ・ 北本トマトカレー出店
- ・ キッチンカー出店



北本カレー
フェスティバル
2025



北本トマトカレー



& green
kitamoto city, saitama

